

NIPPO[®]

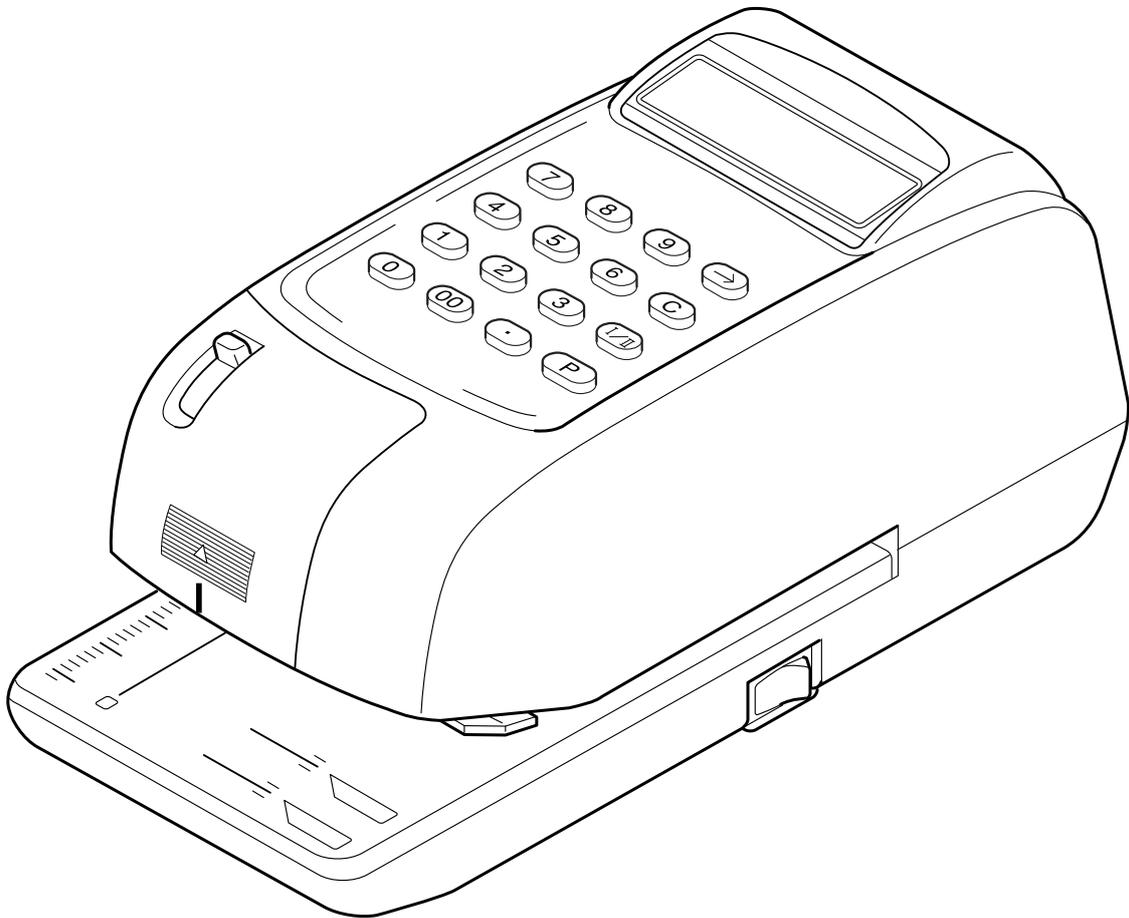
電子チェッカーライター

FX-30

このたびは、ニッポ電子チェッカーライターFX-30をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。

取扱説明書



FX-30 仕様

印字方式：刻み込み印字輪前後回転

印字桁数：8桁

印字スピード：全桁印字で約6.0秒

印字奥行：最大80mm

表示：液晶表示 最大8桁

使用温湿度：温度0~40℃ 湿度20%~80%

電源：AC100V(50/60Hz)

消費電力：通常3.5W(最大22W)

寸法：W109×H97×D233mm

重量：1.6kg

1. 安全にお使いいただくために

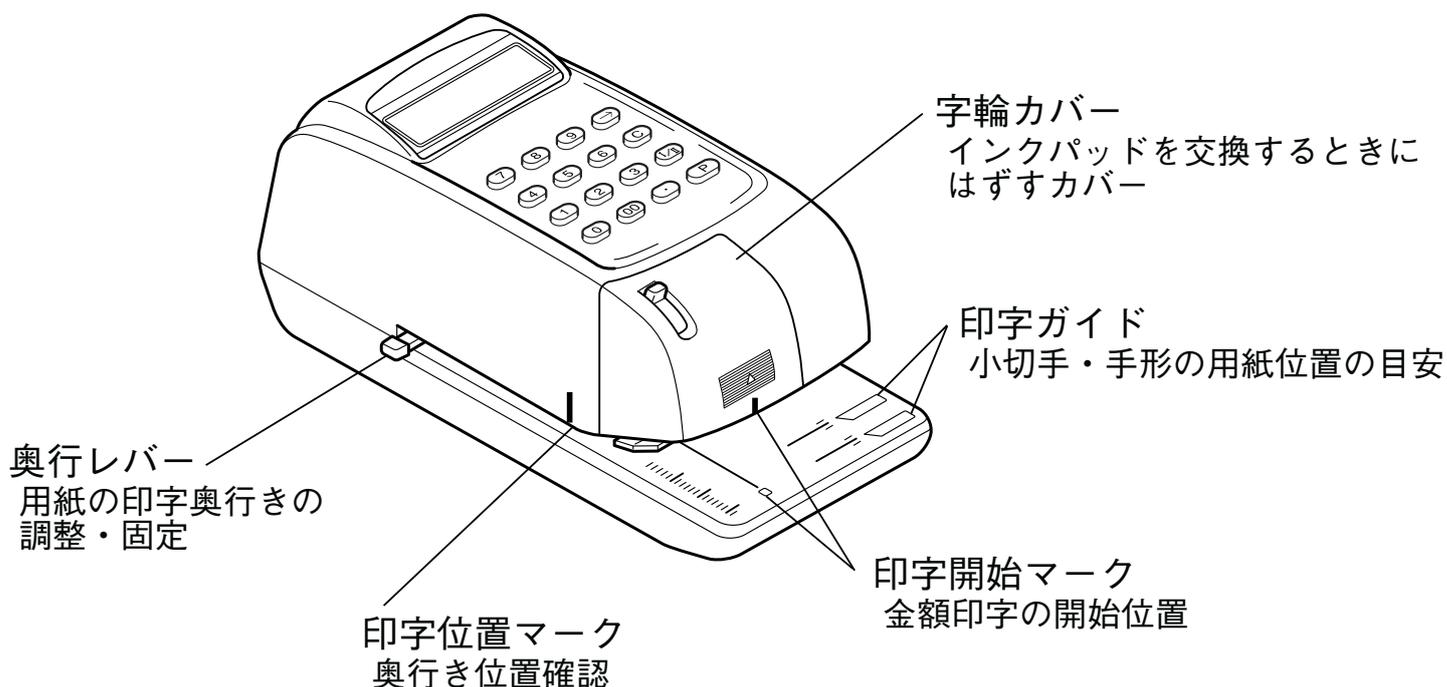
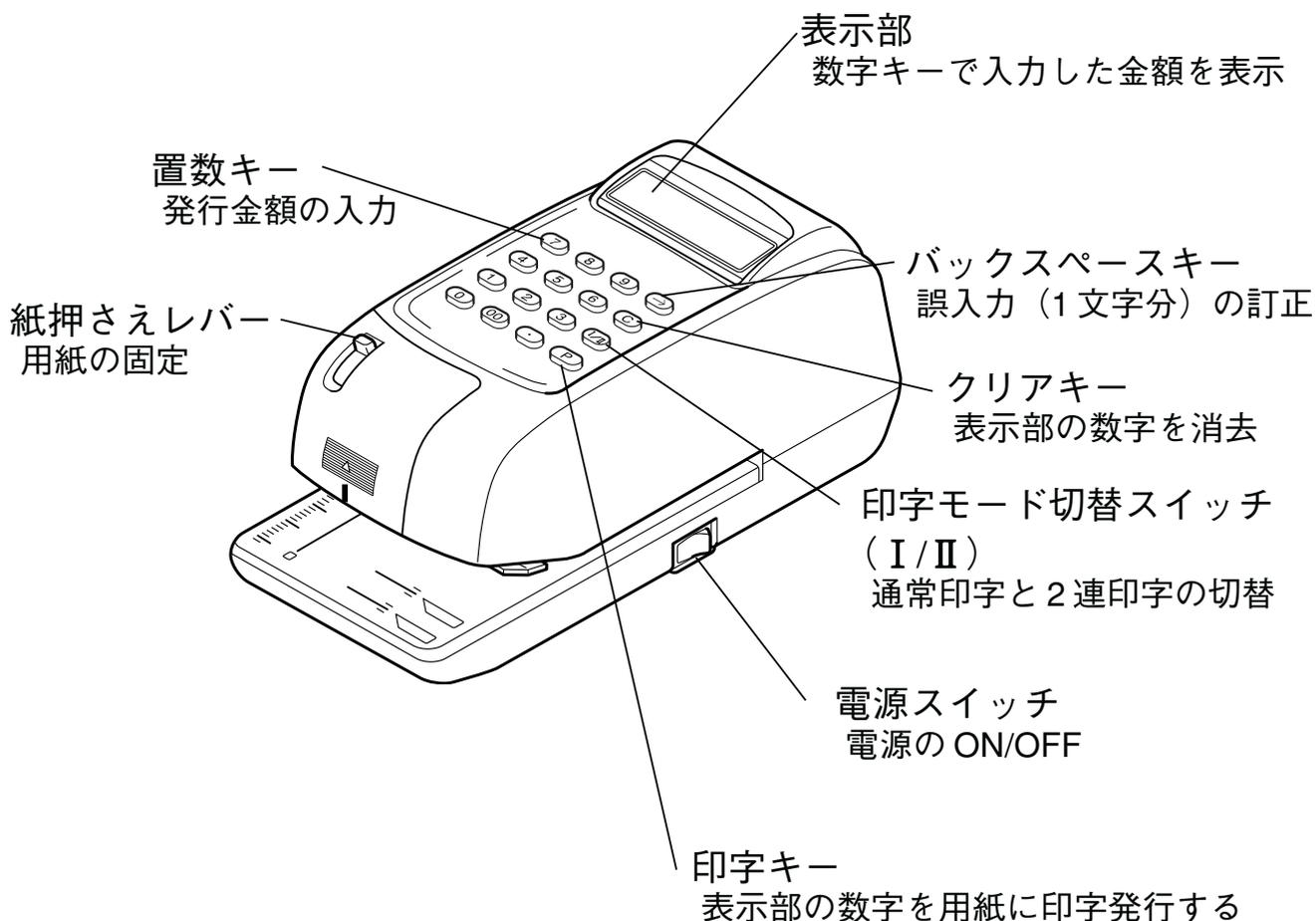
警告

- 表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 万一、異物<金属片、水、液体>が機器内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社あるいは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- この機器の<裏ふた、カバー>をはずしたり、内部を改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電や火災のおそれがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社あるいは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
- 用紙の挿入部分に指を入れしないでください。けがをするおそれがあります。

注意

- 用紙は1枚までです。複数枚重ねて印字しないようにしてください。故障の原因となります。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- <ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 日光や湿気、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- <調理台や加湿器のそばなど>油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
- この機器の上に<花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。

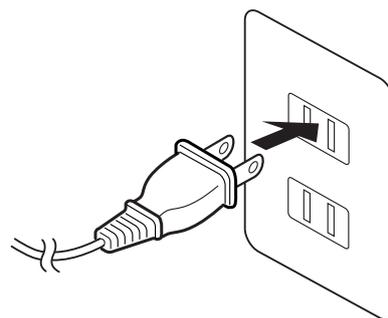
2.各部の名称とはたらき



3.操作のしかた

1) 電源を入れる

- 1.電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。
- 2.電源スイッチを【ON】にしてください。



⚠ 注意

- 電源スイッチの【ON】↔【OFF】を連続して行なわないでください。

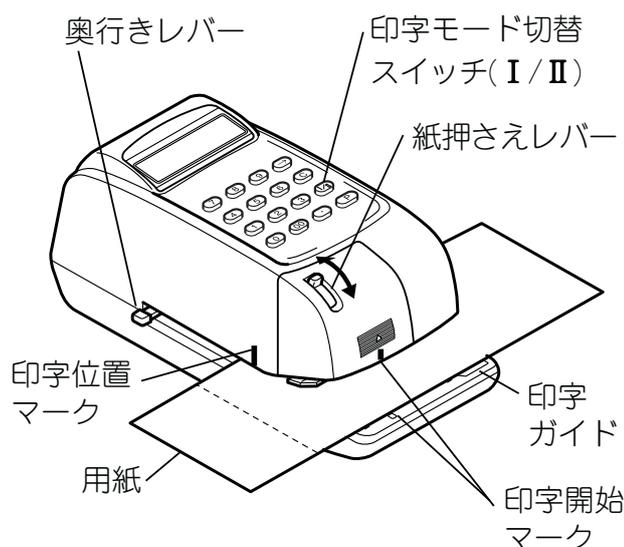
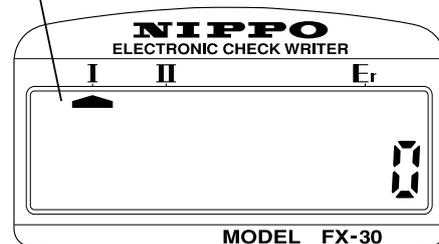
2) 印字位置を決める

小切手・手形・一般の領収書に印字する場合、「表示部」の「印字モード切替スイッチ」の位置が【I】の位置にあるか確認してください。

また、「印字モード切替スイッチ」を【II】の位置にすれば2連続印字（手形用紙）になります。

- 1.「紙押さえレバー」が上の位置であるか確認してください。
2. 用紙を差し込み、「奥行きレバー」で印字する位置を決めます。
奥行きレバーを前後に動かして用紙の印字位置が「印字位置マーク」の真下にくるように奥行き位置を決めます。
(手形・小切手用紙の場合は「印字ガイド」のラインも参考にしてください。)
3. 次に「印字開始マーク」を目印に用紙を左右に動かして「¥」打ち出し位置を決めます。
4. 印字位置が決まったら、「紙押さえレバー」を下げます。
5. 両手を用紙から離してください。

印字モード切替スイッチの位置表示



⚠ 注意

- 必ず用紙の位置を決めてから用紙を固定してください。

3) 金額を発行する

1. 「置数キー」を押して、発行する金額を「表示部」に表示させてください。
 2. 表示金額を確認してから、「P：印字キー」を押します。(→用紙に印字を始めます)
 3. 印字が終了したら「紙押さえレバー」を上へ上げ、用紙を取り出します。
- ※ 2連続印字の場合は続いて金額が印字されます。
(控欄印字→紙送り→本欄印字)

(例) ¥850,000 ※を発行する場合

置数キーで金額を入力



表示部



印字キーを押す



発行印字例



説明

- ・ ¥、※は自動印字します。
- ・ 同じ金額を発行する場合は、そのままの状態での次の用紙を挿入し、「紙押さえレバー」を下へ、「印字キー」を押します。
- ・ 新たな金額を発行する場合は、一旦「クリアキー」で「表示部」を0にします。
- ・ 印字する金額を間違えた場合は、「バックスペースキー」で訂正します。

⚠ 注意

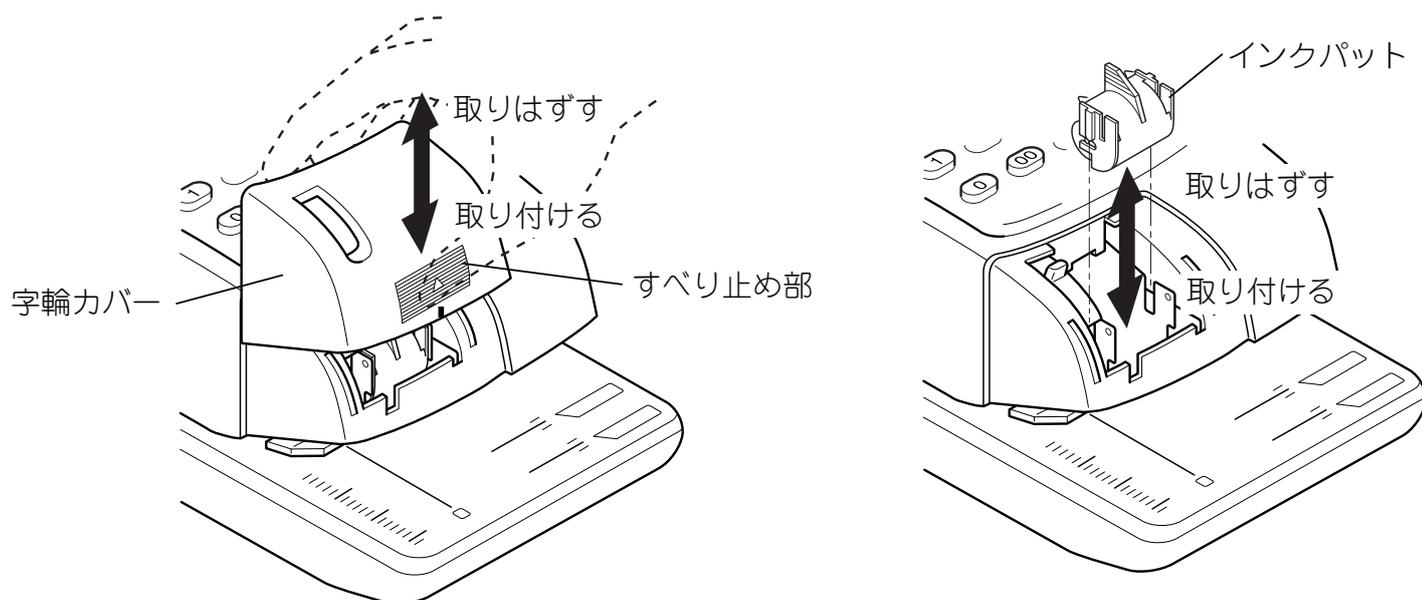
- 用紙を発行するときは、必ず「紙押さえレバー」を下げてください。
- 用紙を何枚も重ねたり、紙以外(厚紙・フィルム用紙等)のものに印字しないでください。
- 発行するときは用紙を自動的に左へ送ります。無理に用紙を引っ張ったり押さえたりしないでください。
- 手形等は綴じたままでは印字できません。綴じしろから1枚ずつ切り離してから印字してください。

4. インクパットの交換

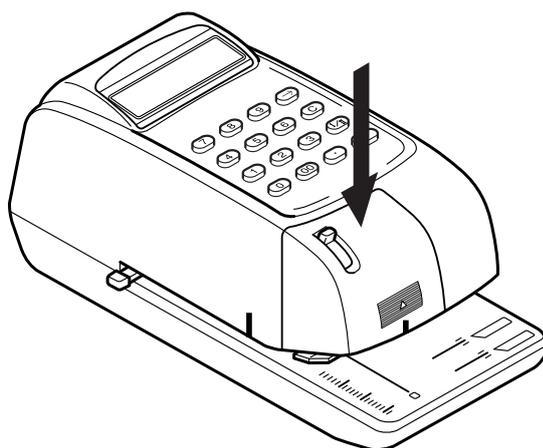
印字が薄くなってきたら、インクパットの交換を行なってください。

※ NIPPO FX シリーズ専用インクパット（別売）

1. 電源スイッチを OFF にして「紙押さえレバー」が上の位置であるか確認してください。
2. 「字輪カバー」のすべり止め部に指を当てて「字輪カバー」を上を持ち上げます。
3. 古くなったインクパットを上へ引き抜いて取りはずし、新しいインクパットと交換します。



4. 「字輪カバー」を元通りに取り付けます。

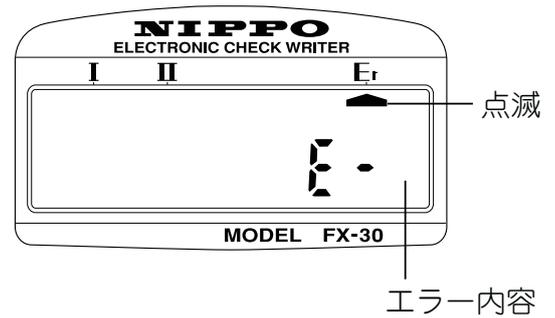


⚠ 注意

- インクパットへは、市販のインクなどを補充しないでください。故障の原因となります。必ずFXシリーズ「NIPPO 専用インクパット」(別売)をご使用ください。

5.故障かなと思ったら

次のような現象が起きたり「表示部」にエラー表示がでたら、操作に従ってエラー処理を行なってください。



現象	操作
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれているか確認してください。 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
印字キーを押しても用紙が送られない	紙押さえレバーが下になっているか確認してください。 紙押さえレバーが上になっているときは、下に下げてください。
エラー表示 E-0	RAM リード/ライトエラー ※ロックを解除してください。
エラー表示 E-2	WHL センサー読取エラー ※ロックを解除してください。
エラー表示 E-3	PRN センサー読取エラー ※ロックを解除してください。
エラー表示 E-P	印字中噛みつきエラー クリアキーを押してください。 ※ロックを解除してください。

※ ロック解除は、電源スイッチを【OFF】にして、10秒後に電源スイッチを【ON】にします。
(電源スイッチの同操作を2～3回繰り返します)

注意

- 上記の操作を行っても現象が解消しない場合は、無理に分解などをしないでお求めになった販売店へ修理を依頼してください。



株式会社テクノ・セブン

事務機器部門 **NIPPO**®

〒220-0041 横浜市西区戸部本町25-16

札幌営業所 ☎011(643)0622
北関東営業所 ☎048(833)2211
横浜営業所 ☎045(322)1146
大阪営業所 ☎06(6745)8822
広島営業所 ☎082(292)3990

仙台営業所 ☎022(238)0533
東京営業所 ☎03(3253)5533
名古屋営業所 ☎052(913)5155
高松出張所 ☎0878(62)7953
福岡営業所 ☎092(612)1631

- 本機についてのお問合せ、修理などの際は、お買い上げいただいた販売会社、もしくは、最寄りの弊社営業所までお持ち込みください。